



えん 園だより 3月号

ほいくえん 保育園ねがい

ねん がつ にちはっこう
2026年3月2日発行

しゅが いっばいっばを そなえて くださる。 箴言16章9節

うめ はな さ なか がつ つめ きたかぜ ゆき そして 夏のような 日もありました。スマイルファミリーデーには、いろいろな形でのご協力をありがとうございました。その後も「スマイルファミリーデーごっこ」が続き、連日お店屋さんやレストランが開店され、子どもたちといっしょにずっと楽しむことができました。お買い上げいただいたみなさまに感謝し、次年度ももっとたのしくなるように、子どもたちと考えることを考えていきたいと思います。

0 歳児



1・2 歳児



幼児



いよいよ3月を迎え、にじ組14名が卒園します。生まれてから今まで、本当に大きく成長しました。生後しばらくは寝ていましたが、やがて一人で、お座り、ハイハイ、つかまり立ちから一足、歩みを進めました。保育園へは一人て来ることはありません。いつも大人といっしょに通いますが、小学校になると、一人で行くようになります。泣いて、ミルクやおむつの交換を、訴えていた子が、悲しい時も悔しい時も嬉しい時も、そして自分だけでなく他の人の気持ちも感じとり、涙を流すようになりました。「やって」や「いやだ」を言葉で言えるようになると、みるみるうちに、ちょっとむずかしい言葉を使ったり、大人が思いつかない発想で、過去を分析したり、仮説を立てたりしては希望を語るできるようになります。できる限り、子どもたちが「感じること」、「考えること」、そして「やりたい」と思った行動を止めないことを願ってきました。新しい世界で、一つでも楽しいことを見つけ、一人でも大好きな人に出会えることを祈ります。それが一歩を歩みだすエネルギーになると思います。その人のその一歩はそなえられ、その困難を乗り越えられる助けが必ずあると信じているからです。 今井世都

スマイルファミリーデーごっこ (お店屋さん)

